

# 田子倉集落を次世代に伝える



▲11月2日の式典で撮影した開館記念写真

## 「ふるさと館田子倉」開館

電源開発によるダム建設で湖底に沈んだ田子倉集落に関する資料などを展示した「ふるさと館田子倉」が11月3日、只見駅前通りに開館しました。

今回、この「ふるさと館田子倉」について、どのような施設で何の目的に作られたのかご紹介致します。

### 「開館への歩み」

「ふるさと館田子倉」は、田子倉集落出身の（故）皆川弥さんが平成16年に、田子倉集落の歴史や生活・文化を後世に伝える資料館として、私設開館されました。しかし開館してから数年後、皆川さんの体調不良などにより、常時開館が叶わない状況となっていました。

一方町では、日本の高度経済成長を支えた田子倉ダムの建設により、50戸が移住を迫られ消失した「田子倉集落」について、後世に伝える為の方法を検討しており、皆川さんと町の恩恵が合致し、平成25年から「ふるさと館田子倉」の在り方について両者で話し合いが進められてきました。しかし残念ながら、計画半ばで皆川さんが病気で亡くなられ、その後、町が皆川さんの意思と事業を引き継ぎ、平成27年に「ふるさと館田子倉」を取得し、併せて田子倉集落関連の資料を皆川さんのご遺族から町へ寄贈して頂きました。そして平成28年に建物の整備を行いました。今回開館の運びとなりました。

### ◆観覧料(消費税は内税です)

区分	観覧料(一人あたり)	
	個人	団体
高校生以上	300円	250円
小・中学生	200円	150円

※1 団体は20名以上から。  
※2 未就学児童は無料

### ◆観覧券

交付された観覧券は、当日・翌日に限り「ただみ・ブナと川のミュージアム」でも観覧可能です。

### ◆会議室のご利用について

会議室(和室・洋室)の利用は、施設利用申請書での予約が必要となりますのでお問い合わせ下さい。※町民の利用は無料です。



▲田子倉ダム建設当時の資料映像が見られる1階ラウンジコーナー



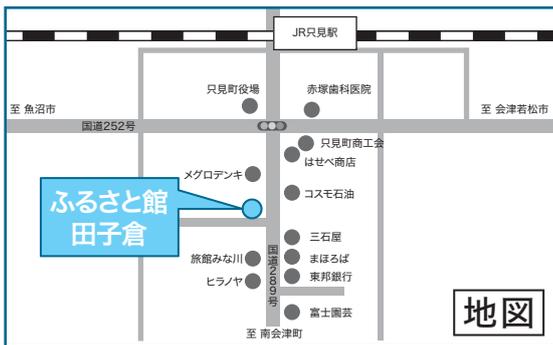
▲1階展示室には、皆川さんなどが集落の住民から集めたクマ猟や漁ろうで使った道具や当時の住民の姿を収めた写真など、200点以上の貴重な資料が展示・保管されています



▲申請により使用できる2階会議室



◀施設内では、只見町の原材料や伝統的な技術を使ってつくられた「自然首都・只見」伝承産品も販売しています



「ふるさと館田子倉」

- ◆営業時間/午前9時～午後5時(最終受付午後4時)
- ◆休館日/火、土、日、祝日、年末年始
- ◆電話番号/0241-72-8466

―設置の目的―

只見町や日本の社会経済の発展に貢献してきた田子倉集落を広く次世代に伝えるとともに、只見ユネスコエコパーク「自然と人の共生」を理念とした地域づくりを支援していきます。

―施設の見どころ―

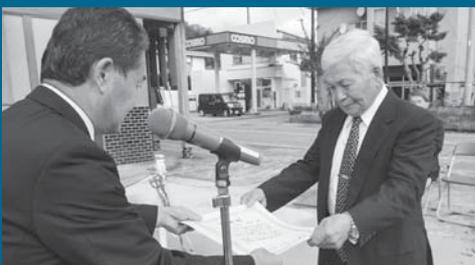
「ふるさと館田子倉」は、「ただみ・ブナと川のミュージアム」の姉妹施設として只見町ブナセンターが運営しています。施設内では、田子倉集落に関する資料を展示・保管している他に、田子倉ダム建設に関する当時の資料映像や、利用者の交流の場として談話室・会議室などが設けられています。また、只見ユネスコエコパーク推進協議会の事務局も設置され、ユネスコエコパークに関する展示・情報発信も行われています。

―開館記念式典―

で感謝状―

11月2日、「ふるさと館田子倉」の開館を記念した式典が行われ、関係者など約30名が参加しました。

式典で目黒町長は「皆川弥氏から引き継いだ事業を、広く次世代へ伝えていきたい」と挨拶し、たぐら会総代の山岸秀弥さんが祝辞を述べられ、田子倉集落関連資料を町へ寄贈した皆川竜弥さんへ、感謝状が贈呈されました。



▲目黒町長(左)から感謝状を受けとる遺族代表代理の鈴木稔さん(右)